

キャンピングトレーラー(防災対応)

(株)木のくに屋
本西 宏行

木材問屋業もそろそろ事業継承のタイミング。

次世代への経営移譲がひと段落したら…日本1周に出掛けようか？

と気もはやく、キャンピングトレーラーを購入しました。

そこで知ったのは…台風・地震・感染症と厄災の続く中、キャンピングカーの業界は特需に沸いているそうです。



キャンピングトレーラー キャンプ場にて

家族とのリクレーションとして、いまだに年に数回はキャンプを楽しんでおります。

子供達がまだ学生だった頃には、夏休みを利用して北海道までフェリーでキャンプ旅行に出掛けたものです。

30日間ほどの全旅程を夏休みの3回に分けて、家族と北海道1周を果たしました。

いつものキャンプはテント泊ですが、この時ばかりはキャンプ場→移動→観光→キャンプ場(たまにホテル泊)を繰り返すキャンプ旅行。

テントの設営と撤収を毎日繰り返すのは、さすがに大変なので車中泊が基本の旅行でした。

ところが、最近テント設営は子供たち任せ。

親は現地到着後には、缶ビールをすぐに『プシュッ』と！

楽しかったテント設営も、最近は体力的に苦になりつつあります。

そこに、最近よく見掛けるようになった「キャンピングカー」。

得意先の社長が購入されて、愛犬を連れて気ままな『放浪の旅』に出掛けるのを羨ましく思っていました。

そんな中、東京ビックサイトで開催された「キャンピングカーショー」を見に行ったのが購入の『きっかけ』です。

キャンピングカーではなく、トレーラーにしたのは対費用効果の面から。

自力で走れない分(エンジンや安全装備が不要)、車両価格や維持費は軽自動車の新規購入と変わりません。

また、日本の道路事情に則したサイズ(車両総重量750kg以下)なら「けん引免許」が不要で、普通自動車免許で引けるのです。

けん引する車も、普通のセダン(例えばプリウス)でOK。

後退(バック)にクセが有るので多少の練習は必要ですが、前方に走る分には社有の2tトラックを運転するのと違和感はありません。

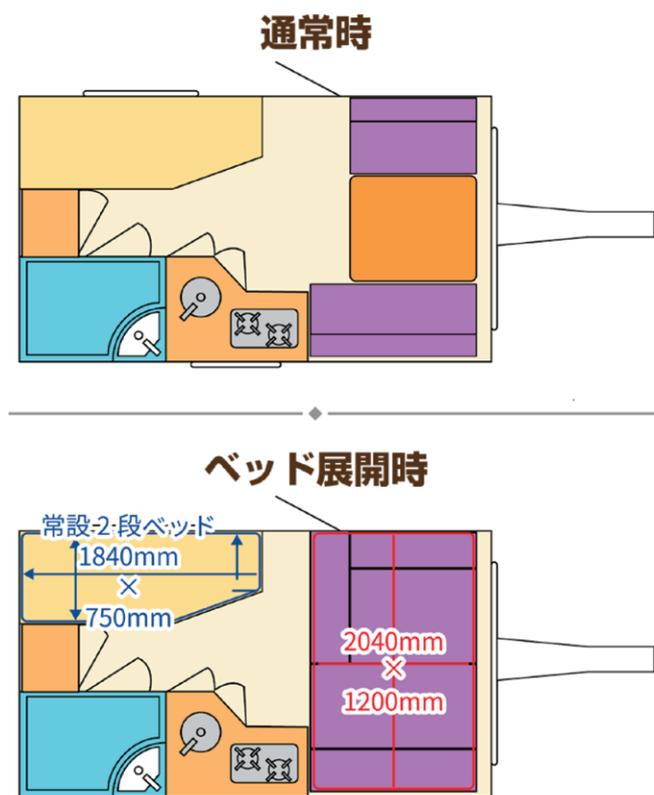
(ETCをけん引有に設定しておけば、高速道路は中型車として通れます)

一番の欠点は、その保管場所でしょうか？

2tトラックを止められるだけの駐車スペースが必要です。

ただ、軽いので(重量も軽自動車並み)手押しで移動して駐車位置へ。

ヘッド車と連結するのも、道路に引っ張り出してからが簡単です。



話を最初に戻しましょう！

キャンピングカーの売れ行きが良くなっているのは、災害時の避難場所として。

地震や水害時に避難場所ではプライバシーの確保はできず、自家用車に車中泊する避難者が大勢いらっしまったそうです。

窮屈な体勢で長時間過ごすため、エコノミークラス症候群を発症した報道もありました。特にコロナ禍のような感染症が発生している状況で、避難所はまさに『3密』だからといって、他に行くところは無く…。



ダイネット (セミダブルに変形)



2段ベット (TV・AC)

そこで、普段は駐車場に保管しているだけのキャンピングカーを避難所として活用する発想が生まれたのです。

キャンピングカーならTV・冷暖房付き、トレーラーなら更にガスコンロ (カセットボンベ)・冷蔵庫・電子レンジ・トイレ・シャワーまで。

ビジネスホテルでの宿泊と大差は有りません。

災害により寸断されたライフライン普及までの間、備蓄しにくい電気は発電機 (屋根にはソーラーパネル付き) という方法も有ります。



シンク (コンロ・冷蔵庫)



サニタリー (シャワー・トイレ)

避難場所としての活用が販売店の営業マンの殺し文句にもなっています。

『防災機能対応』がセールスポイントになるとは…。

早速、私もトレーラーに飲料水・カセットボンベ・灯油・非常食を積み込みました。

普段は、新木場の社有駐車場に停めており Wifi が繋がる環境なので、車内に PC を持ち込んで、もっぱら執務室 (昼寝もできる) としても使っています。

避難場所として使われることの無いように願いながら、今後の日本一周旅行の計画を練り始めました。まずは、30年前にキャンプで行った北海道。

1 か月掛けて、のんびりと一周して来きましょうか！

諸元表

全長	4800mm
全幅	2200mm
全高	2500mm
室内長	3390mm
室内幅	2040mm
室内高	1930mm
車両総重量	750kg
フロントベッドサイズ	2040mm×1200mm
リアベッドサイズ(常設2段ベッド)	上段1840mm×750mm 下段1840mm×750mm